

講義予定表

毎週金曜日 18：30～20：30	学習テーマ及び内容		担当講師
1	4月 15日	オリエンテーション（講義の進め方） 講義：「ローマの信徒への手紙」（緒論）について	内藤 淳一郎 安藤 榮二
2	4月 22日	講義「私の説教論Ⅰ」 説教とは、信徒が説教を学ぶ意義、説教の作り方	内藤 淳一郎
3	5月 13日	講義「ローマの信徒への手紙 8章 18－39 節の釈義と黙想」（説教要旨の制作のために） ※5月18日までに説教要旨（主題 20 字を含む。A4、12pt、1枚）を講師にメールで提出	内藤 淳一郎
4	5月 20日	説教要旨の提出を受けて、発表、質疑応答、講師のコメント ※6月1日までに説教原稿（A4、12pt、4000字以内）を書き上げ講師にメールで提出	内藤 淳一郎
5	5月 27日	講義「ローマの信徒への手紙 8章 18－39 節」から 講師作成の説教の提示・竹森満佐一説教集から説教の紹介	内藤 淳一郎
6	6月 3日	受講者提出の説教原稿による発表、演習（Ⅰ－1） 受講者相互の講評、意見交換、講師アドバイス	内藤 淳一郎
7	6月 10日	受講生提出の説教原稿による発表、演習（Ⅰ－2） 受講者相互の講評、意見交換、講師アドバイス	内藤 淳一郎
8	6月 17日	講義「私の説教論Ⅱ」 説教とは、信徒が説教を学ぶ意義、説教の作り方	安藤 榮二
9	6月 24日	講義「ローマの信徒への手紙 12章 1－21 節の釈義と黙想」（説教要旨の制作のために） ※6月29日までに説教要旨（主題 20 字を含む。A4、12pt、1枚）を講師にメールで提出	安藤 榮二
10	7月 1日	説教要旨の提出を受けて、発表、質疑応答、講師のコメント ※7月13日までに説教原稿（A4、12pt、4000字以内）を書き上げ講師にメールで提出	安藤 榮二
11	7月 8日	講義「ローマの信徒への手紙 12章 1－21 節」から 講師作成の説教の提示・竹森満佐一説教集から説教の紹介	安藤 榮二
12	7月 15日	受講者提出の説教原稿による発表、演習（Ⅱ－1） 受講者相互の講評、意見交換、講師アドバイス	安藤 榮二
13	7月 22日	受講生提出の説教原稿による発表、演習（Ⅱ－2） 受講者相互の講評、意見交換、講師アドバイス	安藤 榮二
14	7月 29日	ローマの信徒への手紙 8章の受講者の修正説教の発表とコメント	内藤 淳一郎
15	8月 5日	ローマの信徒への手紙 12章の受講者の修正説教の発表とコメント	安藤 榮二

受講資料※

- ・岩波訳新約聖書Ⅳ「パウロ書簡」 青野太潮訳、ローマ人への手紙 8：18－39、12：1－21 の訳文と注解
- ・日本基督教団出版局「新共同訳・新約聖書注解」のローマ人への手紙 8：18－39、12：1－21 注解書写し
- ・NTD／ATD 刊行会「NTD 新約聖書注解・ローマ書」の 8：18－39、12：1－21 写し
- ・竹森満佐一「ローマ書講解説教」の 8：18－39 の 10 本うち 2 本、12：1－21 の 5 本のうち 2 本の写し

※神学校ホームページより事前配信

講座の受講方法

- ＊ 単位を必要とする受講者は 2 回の説教要旨、2 回の説教原稿を提出する。
単位は「説教学」4 単位ないし「信徒のための説教学Ⅱ」4 単位とする。
- ＊ 単位を必要としない教会共同受講者の説教提出は任意とする。ただし説教要旨は学びのために提出する方向で検討をしてほしい。
- ＊ 説教要旨・説教原稿は、期日までに担当教師に提出する。当日神学校ホームページを通して受講者にまとめたものを配布する。

注意事項

- ＊ 授業は、オンライン受講、各教会での共同受講（ライブ）を勧める。
教会での共同受講は、教会牧師あるいは代務者が代表受講として受講申し込みを行う。
- ＊ 公開授業であり、在学生でない信徒を基本対象とするが、在校生の受講には「説教学」の 4 単位を付与する。
- ＊ 受講者は、ローマの信徒への手紙 8 章、及び 12 章の説教原稿を作成する。在学生でない信徒は義務ではない。
- ＊ 説教原稿を作成、提出した受講者全員の説教を、受講生の了解を得て印刷、文集にすることを検討する。



月曜

聖書から聴く：多様な人が共に生きる学び

講師 山口 里子

「聖書によれば同性愛は罪」と広く信じられています。しかし聖書学では30年近く前から、そういう見方は時代錯誤の誤読と指摘されてきました。古代中東の性理解や習慣を学ぶと、聖書の色々な言葉や話に新しいニュアンスが現われてきます。それは性別・民族・身分に関する事柄にも繋がっています。

ちなみに、イエス自身が「ユヌコス（男でない男）」と言われたことを肯定的に話したイメージの話が、福音書にはあります。またイエスの伝道活動を継承した

最初期クリスチャンたちの「洗礼宣言」では、「男と女」が「一対」として生きる伝統を乗り越える姿勢も示されていると、理解されています。

学際的な情報を活用する聖書学の専門的な分析・解釈の少し難しい学びだからこそ、様々な人々と一緒に学び合いつつ驚きの発見も共有しませんか？

そして一つの解釈を絶対化せず、一人一人の個性も自由も尊重し合って共に生きる世界に向けて、楽しい学びをしたいと願います。

火曜

組織神学Ⅱ

講師 宣教研究所所長 朴 思郁

本講義は、組織神学の基本的な概念、主題などを学習することにより、神学的知識を熟知するとともに神学的思考を深めることを目指します。そのために組織神学の主要な主題（神学方法論、神論、人間論、キリスト論、聖霊論、救済論、教会論、終末論など）を「神と世界」、「イエス・キリストと人間」、「聖霊と共同体」の三つに区分して主な内容と争点を扱おうとしています。

「組織神学Ⅱ」では、「組織神学Ⅰ」で取り扱ってきた「神と世界」、「イエス・キリストと人間」のほかに「聖霊と共同体」に関連するテーマを中心に講義を行い、現代神学の傾向と主題に関する講義を加える予定です。基本的には、「組織神学Ⅰ」に引き続き、ダニエル・L. ミグリオリ『現代キリスト教神学—理解を求める信仰』（私訳）をテキストにする講義を通して組織神学の主な内容を概括的に学びたいと思います。

金曜

信徒のための説教学

(浦和キリスト教会)
講師 安藤 榮二・内藤 淳一郎

(品川バプテスト教会)

今回は「ローマの信徒への手紙」から、8章 18－39 節と 12 章 1－21 節を取り上げます。8章 18－39 節は「被造物に呻き、苦難に勝たせてくださる聖霊の執り成しと神の愛」が、12 章 1－21 節は「教会共同体に連なるキリスト者の生き方—礼拝、奉仕、兄弟愛」がテーマとなるでしょう。

今の時代に、聖書から私たちに語りかける御言葉を共に聞き、皆と共に分かち合い、御言葉を教会の業として宣教してゆきましょう。

申込締切日 2022年4月4日(月)

お問合せ

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 東京バプテスト神学校事務局(茗荷谷キリスト教会3階)
● TEL.03-3947-5141 ● FAX.03-3947-5145 ● E-mail seminary@tbts.jp

月曜 聖書から聴く：多様な人が共に生きる学び 講師 山口 里子

講義予定表		※5月2日、7月18日、8月1日～31日は休講
毎週月曜日 18：30～20：30	学習テーマ及び内容	
1	4月 11日	オリエンテーション・「はじめに」・「用語説明」
2	4月 18日	第1章 ソドムの滅亡（創19章）
3	4月 25日	第2章 レビ記の規定（レビ18：22，20：13）
4	5月 9日	第3章 創造物語（創1-2章）
5	5月 16日	第3章 創造物語（創1-2章）「思いめぐらし」
6	5月 23日	第4章 パウロの悪徳リスト（1コリント6：9）
7	5月 30日	第5章 パウロの断罪（ローマ1：26-27）
8	6月 6日	第6章 ダビデとヨナタン（サムエル上18-下1章）
9	6月 13日	第7章 ルツとナオミ（ルツ記）
10	6月 20日	第8章 サーリース・ユヌコス・宦官
11	6月 27日	第9章 「私のパイス」の癒し（マタイ8：5-13）
12	7月 4日	第10章 イエスが愛した弟子（ヨハネ13，19，20章）
13	7月 11日	第11章 最初期の洗礼定式とその背景（ガラテヤ3：26-28）
14	7月 25日	第11章 最初期の洗礼定式とその背景（ガラテヤ3：26-28）「思いめぐらし」
15	9月 5日	「虹のリタジー」・総まとめ（何でもQ&R）
テキスト		山口里子『虹は私たちの間に：性と生の正義に向けて』（新教出版社、2008年）

事務局より

この講座での山口里子講師による講義時間は90分です。講義後、休憩10分、Zoom 機能を用いた小グループでのディスカッション20分、という形式で進められます。この授業形式をご了承のうえ、受講していただきますようお願いいたします。

なお、講師への質問や感想は、事務局経由で毎週行うことができます。

この講座を通して、「多様な人が共に生きる」ということを聖書の言葉から一緒に学び合いましょう。

火曜 組織神学Ⅱ 講師 宣教研究所所長 朴 思郁

講義予定表		※8月1日～31日は休講
毎週火曜日 18：30～20：30	学習テーマ及び内容	
1	4月 12日	主題講義 ①
2	4月 19日	聖霊と共同体：聖霊理解 『現代キリスト教神学』第10章
3	4月 26日	聖霊と共同体：義認と聖化 『現代キリスト教神学』第10章
4	5月 10日	聖霊と共同体：教会論 ① 『現代キリスト教神学』第11章
5	5月 17日	聖霊と共同体：教会論 ② 『現代キリスト教神学』第11章
6	5月 24日	聖霊と共同体：宣布 『現代キリスト教神学』第12章
7	6月 7日	聖霊と共同体：礼典 『現代キリスト教神学』第12章
8	6月 14日	主題講義 ②
9	6月 21日	聖霊と共同体：召命と働き 『現代キリスト教神学』第12章
10	7月 5日	聖霊と共同体：宗教理解 『現代キリスト教神学』第13章
11	7月 12日	聖霊と共同体：宗教多元主義 『現代キリスト教神学』第13章
12	7月 19日	聖霊と共同体：終末論 ① 『現代キリスト教神学』第14章
13	9月 6日	聖霊と共同体：終末論 ② 『現代キリスト教神学』第14章
14	9月 13日	聖霊と共同体：終末論 ③ 『現代キリスト教神学』第14章
15	9月 20日	主題講義 ③
テキスト		(1) ダニエル・L. ミグリオリ『現代キリスト教神学—理解を求める信仰』（私訳） (2) アリスター・E. マクグラス『キリスト教神学入門』（教文館） (3) W・パネンベルク『組織神学の根本問題』（日本基督教団出版局） (4) カール・バルト『教義学要綱』（新教出版社：ハンディ版）

参加費（1講座につき）

● 一般の方(及び聴講生)：受講料 30,000 円 ● 本科生：受講料 25,000 円

＊通信受講は+5,000円の通信事務費が必要です。

＊なお、卒業生・後援会会員・連盟加盟教会牧師・理事・教師の受講料は半額（15,000円）です。

● 後援会受講：受講料 17,500 円(通信事務費含む、但し単位取得はできません)

＊後援会会員になるためには「年会費 5,000 円」が必要です。

教会共同受講・参加費

● 受講料 15,000円 + 後援会年会費 5,000円 (牧師・主事・卒業生は免除)

＊教会共同受講は原則2名以上です（通信事務費免除）。受講は公開講座に限ります。